

平成30年度 生徒学校評価

(1) 生徒アンケート結果（各学年平均，全校平均）※評価項目は，今年度よりすべて刷新した。

	1年	2年	3年	全校
1 教育方針・目標の理解	3.5	3.5	3.5	3.5
2 意欲的な学習態度	3.1	3.1	3.2	3.1
3 授業力の向上(わかりやすい授業)	3.5	3.2	3.0	3.2
4 家庭学習の充実	3.3	3.1	3.4	3.3
5 友達への思いやり	3.8	3.7	3.8	3.7
6 道徳・心の教育の充実(豊かな人間性を育む心の教育)	3.7	3.6	3.6	3.6
7 健康づくり(食事，運動，睡眠等)	3.4	3.3	3.3	3.3
8 一人ひとりの生徒の理解と尊重	3.5	3.3	3.3	3.4
9 いじめ問題への対応	3.7	3.3	3.3	3.5
10 学校の支援体制(教育相談体制)	3.7	3.5	3.5	3.6
11 安全と事故防止	3.7	3.6	3.7	3.7
12 施設・設備の改善・充実	3.5	3.1	3.1	3.2
13 家庭や地域との連携協力	3.5	3.2	3.1	3.2

(2) 回収率

(4段階評価)

- ・1年生 129名 97%
 - ・2年生 111名 95%
 - ・3年生 111名 95%
- 計 351名 96%

(3) 考察（今年度評価項目を全面的に変更したので，考察において昨年度のものとは比較ができない。）

○全体の傾向

- ・生徒指導面での評価が高くなっている。特に「友達への思いやり」や「心の教育」，「安全指導」の評価が高い。
- ・学習指導に対して，全体的に厳しい評価を受けている。
- ・地域の教育力の活用状況と家庭や地域との連携協力の評価が低い。
- ・生徒と教職員の相談体制について，満足している割合が高い。

○課題等

- ・学習指導や生徒指導においては，一層個別指導の充実に努めていきたい。特に英語や数学の少人数指導のさらなる充実を図る必要がある。
- ・家庭学習の習慣や計画的な学習活動の実現に向けて，今後も粘り強く指導していく必要がある。

○意見欄について

- ・部室がない部活が多く不便なので，部室がほしい。
- ・階段の壁に文字が彫ってあり消えない。
- ・武道館をきれいにしてほしい。
- ・プールの更衣室が不潔です。
- ・毎年灯油を運ぶのがたいへんなので，エアコンを使用してほしい。

平成30年度 保護者学校評価

(1) 保護者アンケート結果（各学年平均，全校平均）※評価項目は，今年度よりすべて刷新した。

		1 年	2 年	3 年	全校
1	教育方針・目標の理解	2.9	2.8	2.8	2.8
2	意欲的な学習態度	2.6	2.8	2.9	2.7
3	授業力の向上(わかりやすい授業)	2.5	2.5	2.4	2.4
4	家庭学習の充実	2.9	3.0	3.2	3.0
5	友達への思いやり	2.9	3.5	3.5	3.5
6	道徳・心の教育の充実(豊かな人間性を育む心の教育)	2.8	2.9	2.9	2.8
7	健康づくり(食事, 運動, 睡眠等)	3.0	3.0	3.0	3.0
8	一人ひとりの生徒の理解と尊重	2.5	2.7	2.7	2.7
9	いじめ問題への対応	2.7	2.8	2.8	2.8
10	学校の支援体制(教育相談体制)	2.9	3.0	2.9	2.9
11	安全と事故防止	3.0	3.0	3.1	3.0
12	施設・設備の改善・充実	2.7	2.8	2.7	2.7
13	家庭や地域との連携協力	2.9	2.9	2.8	2.8

(2) 回答数 (4 段階評価)

- ・1年生 117世帯 89%
- ・2年生 106世帯 91%
- ・3年生 103世帯 88%

全校 89%

(3) 考察（今年度評価項目を全面的に変更したので，考察において昨年度のものとは比較ができない。）

○全体の傾向

- ・教育方針や目標を理解している保護者の割合が低い。
- ・全体的に生徒及び教職員よりも評価が低くなっている。評価が3.0を超えたのが4項目にとどまっている。
- ・高い評価のうち，友達への思いやりについての指導の評価が高い。これは，生徒及び教職員も同じ傾向にある。
- ・学習指導については，全体的に厳しい評価が続いている。特に，授業力の向上（わかりやすい授業）への評価が，他の項目に比べて低くなっている。
- ・2・3年生では，意欲的な学習態度の指導について，比較的高く評価されている。また，すべての学年で家庭学習の充実について評価が高くなっている。

○今後の課題

- ・授業研修会等を通して，教職員一人ひとりの授業力の向上に努める。
- ・個に応じた指導の充実を図るために，今後も積極的に少人数指導を推進していく。
- ・教育相談の技量を高め，より一層生徒との相談体制を強化し，いじめの早期発見や望ましい人間関係づくりを推進する。

○意見等

- ・豊かな人間性を育む心の教育の充実について，具体的にどのように取り組んでいるのか知りたい。また，視点が偏らないように外部から客観的に評価してもらうことも必要。さらに保護者にも参加できる機会を設けてほしい。
- ・ホームページよく見えています。通信やお便りもよく出してくださるので，見るのも楽しみです。いつもご指導ありがとうございます。
- ・千葉県内の他の市では，土日とも1日中練習をしているところがあると聞きます。印西市は土日のどちらかの半日のみと聞きますが，他の市と合わせてほしい。
- ・いつも学習，行事，部活動などに真面目に取り組める学校であることに感謝しています。子供は，先生方をよく見えています。真剣に向き合っていただきありがとうございます。
- ・日頃よりお世話になりありがとうございます。「子供の事故防止」「安全教育について」気になることがあります。夏休みの部活動において水分補給の時間が少なく何度か熱中症のような吐き気や頭痛がありました。水分補給のタイミングなど安全教育の観点から改善をお願いしたいと思っています。
- ・大人の言葉や対応によって，傷ついたりやる気を失わせていることがあることにも気付いてほしい。
- ・校長先生，教頭先生を中心に先生方は，熱心に学校教育を行ってくださっていると思います。
- ・トラブルが起きた時の先生方の対応に違和感を感じます。先生の対応を直してほしいと話をしても改善された様子がなかったのが残念です。（部活の顧問に対して）
- ・昨年まで通学路について，印旛中はあまり考えてくれなかったけれど，今年度からは，道の悪いところなども直し，よく考えてくれている。ありがとうございます。

平成30年度 職員学校評価

(1) 職員アンケート結果（全職員平均）※評価項目は、今年度よりすべて刷新した。

	職員
1 教育方針・目標の理解	3.2
2 意欲的な学習態度	3.2
3 授業力の向上(わかりやすい授業)	3.5
4 家庭学習の充実	3.1
5 友達への思いやり	3.6
6 道徳・心の教育の充実(豊かな人間性を育む心の教育)	3.1
7 健康づくり(食事, 運動, 睡眠等)	3.5
8 一人ひとりの児童生徒の理解と尊重	3.2
9 いじめ問題への対応	3.4
10 学校の支援体制(教育相談体制)	3.1
11 安全と事故防止	3.3
12 施設・設備の改善・充実	2.7
13 家庭や地域との連携協力	2.8

(4段階評価)

(2) 回答数

教職員数 27名

- 考察（今年度評価項目を全面的に変更したので、考察において昨年度のものと比較ができない。）
 - ・友達への思いやりの指導について、評価が高い。これは、保護者及び生徒の評価と傾向は同じである。
 - ・施設・設備の改善・充実について、保護者・教職員ともに評価が低い、生徒の評価は逆に高い。
- 今後の課題
 - ・今後も授業力の向上に努める。そのためには、研修を組織的に行うことや自発的な研修を充実させる必要がある。
 - ・校舎や教室は古い、工夫ある教室環境を作成したり、整理整頓が行き届いた学校づくり、さらに日々の清掃活動の一層の充実を図りたい。
 - ・道徳・心の教育では、道徳の教科化に向けた取組を充実させたり、日常生活の中で豊かな心が育つ場面を見逃さず指導することができる力量を教職員一人ひとりに身につけさせていく。
 - ・教職員の人権感覚をさらに磨き、豊かな心を育む教育を推進するとともに、いじめの未然防止、早期発見・早期対応、解消に努めていく。
- 意見等
 - ・生徒に教室で動画を見せるなど、ICT関係の施設や環境が整っていない。
 - ・特別教室にもエアコンを入れてほしい。生徒の集中力が続かず、けがの発生の恐れがある。
 - ・保護者の評価を見ると改善しないといけないところがたくさんあると思いました。

学 校 関 係 者 評 価

- 1 評価者 P T A特別委員（8名）
- 2 日 時 平成31年2月15日（金）午後2時30分～4時00分
- 3 方 法 （1）授業参観 6校時 1・2学年の授業参観
（2）授業参観及び学校評価についての意見交換（司会：教頭）
- 4 評価者からの意見
 - ・「授業力の向上」について、保護者の評価が低いので、興味・関心をもって授業を参観した。2年生の理科を見学したが、とてもわかりやすい授業だった。
 - ・学校の授業だけではついていけず、塾に通わせないといけないというのはいかなものか。
 - ・生徒が楽しく通っている。何よりもいいことだと思う。
 - ・授業を参観した。難しそうな内容であったが、教師がわかりやすい言葉を使って説明していた。
 - ・「いじめへの対応」について、生徒が高く評価しているのはよいことである。
 - ・「授業力の向上」と「健康づくり」について、職員・生徒・保護者の順に評価が低くなっているが、生徒は楽しく学校に通っている。
 - ・子供が、家で学校の話をする時は、たいてい部活動の話である。学級担任ともっと密接な関係になってもいいのではないか？
 - ・職員と生徒の評価が高く、保護者の評価が低くなっているのは、親と子供のコミュニケーション不足が原因ではないか。
 - ・家庭や地域との連携・協力が低い。もっと細かいところまで、学校から情報を発信していく必要がある。
 - ・全体的に親子のコミュニケーション不足が評価結果に表れている。
 - ・部活動の連絡方法が、携帯を持っている生徒中心になっている。携帯を持たない生徒への連絡について配慮してほしい。
 - ・定期テストの日程について、テスト4日前から部活動を停止しているが、テスト後すぐに大会があるとかわいそうである。
 - ・「家庭と地域との連携」については、職員も低く評価している。この点についてはどのように考えているのか？
- 5 来年度に向けて
 - ・来年度も引き続き、個に応じた指導を推進する。そのための研修会を積極的に行っていく。また、少人数指導及び学習指導員や介助員による支援体制をより一層充実させる。
 - ・生徒個々の学校生活をより充実させるために、学校行事を生徒主体で行っていく。
 - ・学級内における豊かな人間関係づくりに努める。そのために、学級担任に教育相談技術を習得させる。
 - ・家庭や地域の連携については、積極的に学校から情報を発信するとともに、リサイクル活動や交通安全指導及び環境整備作業への参加をさらに働きかける。
 - ・日常の教材研究や授業研修会等を通して、授業改善に努め、教職員の教科指導力を高めることで学力の向上を図る。